



いんさつ スクリーン印刷

暮

正式名称は、シルクスクリーン印刷。紙だけではなく、金属、ガラス、シリコン製品まで、平面・曲面を問わず印刷できる。



ここに技あり!!

一口に印刷といっても、ただ対象物に色を載せるというような単純な作業ではありません。印刷される製品の材質の見極め、

精密な版の製作、インクの調色、印刷する際の力加減など様々な要素が絶妙なバランスでかみ合ったときに初めて実現される緻密で繊細な技の結晶なのです。

スクリーン印刷は、版に貼られた絹 (=シルク) で作られた紗 (=スクリーン) の穴からインクを通して転写する印刷技術です。薬剤を塗った版に原稿を置き、光を当てると、インクを通したい部分だけ穴が開きます。製版された版の上にスキージと呼ばれる道具でインクを伸ばして印刷します。

紙はもちろん、ガラス、プラスチック、合成樹脂、

金属など、平面から曲面まで、素材・形状を問わずあらゆるものに印刷が可能です。また、インクに厚みがあり、発色が鮮明で耐候性が高いため、この技術は多くのものに活用されています。

個人差はありますが、インクに対する知識や製版、印刷の基本的な技術を習得するのに1~2年程度の経験を要します。

仕事の魅力

「水と空気以外は印刷できる」といわれるほど、素材を選ばず幅広い応用が利く印刷技術は大きな魅力です。室内サインやディスプレイなど、自分が手掛けた製品が市場に出ていることに、やりがいを感じます。

●学ぶ

印刷会社や工場に入って技術を学ぶ

●磨く

資格や免許などは特にない

●活かす

印刷会社や工場で経験を積んで、独立開業も可能。汎用性の高い技術のため、様々な業種との協働が期待できる。